

令和5年度 兵庫県教員等の資質向上に関する協議会 主な意見

日時：令和5年 11月 10日（金）14:00 ～ 16:00

場所：兵庫県学校厚生会館大会議室（2階）

1 指標について

- ①管理職指標8の「教職員の勤務時間適正化推進プラン」は、策定後「働きがいのある学校づくりに関する方針」やGPH100等が出され、現在では使われていないように思うので表現を検討してほしい。
- ②教員指標5に震災の教訓と経験を「継承する」という言葉を残してほしい。

2 研修計画について

- ①通級による指導やユニバーサルな授業の充実に向け、高等学校と特別支援学校の教員が共に学ぶ機会をつくってほしい。
- ②新たな教育課題について学ぶ機会を、全ての世代の教員、また、臨時的任用教員にも提供し、知識をアップデートできるようにしてほしい。
- ③特別支援学校次世代コーディネーター育成講座では、各校1名の制限があるが、多くの先生が受講できるようにしてほしい。

3 研修内容について

- ①教員指標10の「全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくり」が障害の有無に関係ないことを周知してほしい。
- ②不登校への対応に関して、文部科学省の不登校の定義に限定せず、病気の子どもも含めて幅広く対応してほしい。
- ③ユニバーサルな授業づくりに関して、デジタル教科書に備わっている様々な学習者支援機能の周知や活用をしてほしい。

4 その他

- ①指標から研修が選択できるようにしてほしい。
- ②研修を受講したい時期に受講したい内容が選択できるようにしてほしい。
- ③校内研修の充実を図れるよう、学校の現状に合わせた支援をしてほしい。